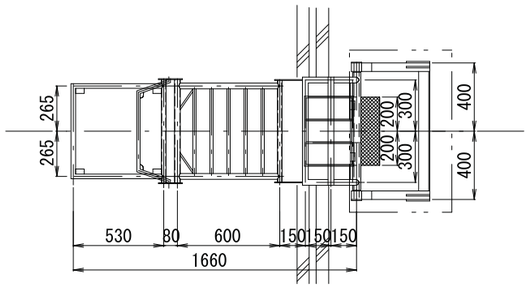
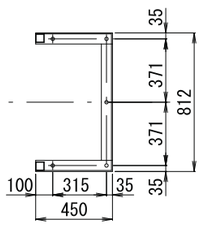
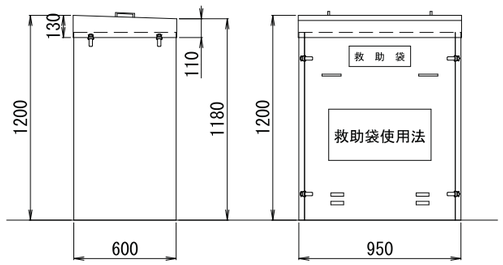
参考図



平面図

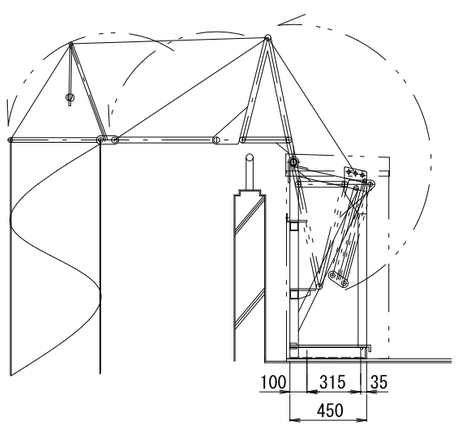


アンカーボルト配置図

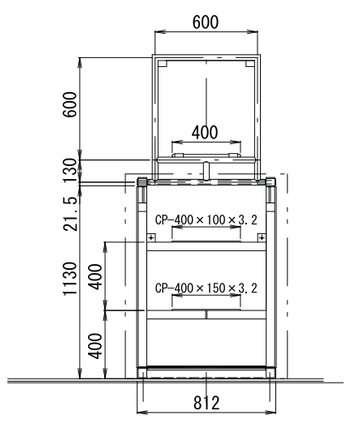


分解型格納箱

（図面は屋外仕様）



側面図



正面図

垂直式救助袋の主要材料

袋本体

名称	材質	規格
外筒布	ポリエステル5号	引張強さ　タテ、ヨコ1,000N 以上
滑降面	ポリエステル5号	引張強さ　タテ、ヨコ1,000N 以上
金具覆い布	ポリエステル5号	引張強さ　タテ、ヨコ　800N 以上
展張部材	ポリエステルベルト	引張強さ　8,900N×4本

取付具

名称	材質	規格
取付金具	鋼材	L-65×65×6 、□-50×50×2.3
入口金具	一般構造用鋼管	27.2φ×2.8 、34.0φ×3.2 、42.7φ×3.5

格納箱

名称	材質	仕上
鋼板	ボンデ鋼板1.2mm	粉体焼付塗装仕上
	ステンレス鋼板1.2mm	ヘアライン仕上
取手	亜鉛合金	サチライトクロムメッキ仕上

その他

名称	材質	規格
縫糸	ナイロン、ポリエステル	#5 、#2
誘導ロープ	PPマルチフィラメント	16打 、6φ 、オレンジ
吊りロープ	ワイヤロープ	6φ 、8φ 、10φ 、12φ
保護マット	フェルト	10mm以上
取手	ナイロンベルト	50×2.0



お問い合せは・・・・・

ORIRO オリロー株式会社

本　社　〒112-0001　東京都文京区白山 4-25-6

URL : https://www.oriro.co.jp　e-mail : oriro@oriro.co.jp

札幌支店	〒060-0008	北海道札幌市中央区北 8 条西 24-1-3 TEL. 011-640-7744　FAX. 011-615-8299
東北支店	〒983-0043	宮城県仙台市宮城野区萩野町 1-16-6 TEL. 022-208-7744　FAX. 022-208-7747
北関東支店	〒350-2201	埼玉県鶴ヶ島市富士見 4-28-35 アークパレス 1F TEL. 049-279-7744　FAX. 049-279-7745
東京支店	〒112-0001	東京都文京区白山 4-25-6 TEL. 03-3814-7744　FAX. 03-3813-2909
横浜支店	〒232-0061	神奈川県横浜市南区大岡 2-17-24 TEL. 045-277-7744　FAX. 045-277-7745
名古屋支店	〒453-0804	愛知県名古屋市中村区黄金通 1-3 ファファーレ黄金 1F TEL. 052-352-7744　FAX. 052-352-7775
大阪支店	〒552-0007	大阪府大阪市港区弁天 2-14-24 TEL. 06-6572-7744　FAX. 06-6574-2994
九州支店	〒815-0031	福岡県福岡市南区清水 3-9-21 TEL. 092-551-7744　FAX. 092-511-6555
新潟営業所	〒959-0227	新潟県燕市東生津山王 724 TEL. 0256-92-7744　FAX. 0256-92-4949
埼玉東営業所	〒336-0022	埼玉県さいたま市南区白幡 5-16-20 ビューロ MK1F TEL. 048-829-7400　FAX. 048-829-7410
千葉営業所	〒273-0033	千葉県船橋市本郷町 421-2 大塚ビル 1F TEL. 047-311-4470　FAX. 047-311-4474
東京西営業所	〒183-0022	東京都府中市宮西町 3-5-4　パークヒル 2F TEL. 042-319-0644　FAX. 042-319-0844
メンテナンス部	〒113-0001	東京都文京区白山 1-23-12 清水ハイツ 1F TEL. 03-3815-7744　FAX. 03-3815-7745
広島出張所 （九州支店管轄）	〒732-0052	広島県広島市東区光町1-11-5 チサンマンション広島506 TEL. 082-258-7220　FAX. 082-258-7221

●本製品は予告なく変更することがあります



2026.08　改訂版

備えあれば 安心・安全ライフ

ORIRO

ORIRO 垂直式救助袋

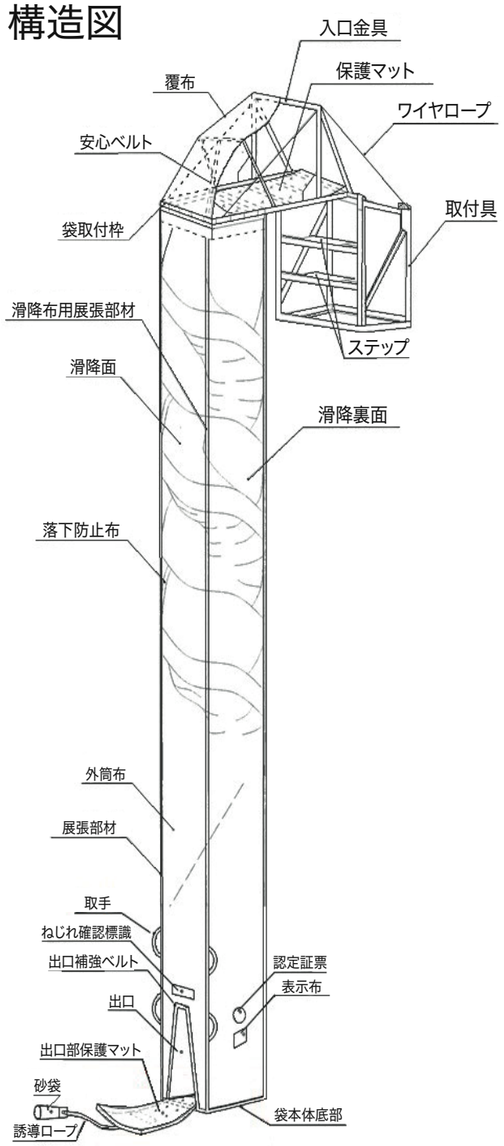
一般財団法人 日本消防設備安全センター

認定番号　ふV - 005-2号 （WA）

垂直式救助袋（WA）

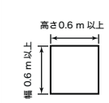
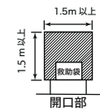
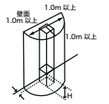
一般財団法人日本消防設備安全センター
認定番号　ふV-005-2号

構造図







	設置位置			
	開口部の大きさ	操作面積	降下空間	避難空地
救助袋（避難器具用ハッチに収納したものを除く）（垂直式）	 h：開口部の下端は床面から1.2m 以下とすること。ただし、避難上支障ないように固定又は、半固定のステップ等を設けた場合はこの限りではない。	 救助袋の設置部分を含み、幅 1.5m 奥行き 1.5m 以上とする事。なお、特に操作に支障のない範囲で、2.25 ㎡以上の面積で形状を変える事ができる。	 救助袋と外壁の間隔は 0.3m 以上（外壁にひさし等の突起物がある場合は、当該突起物の先端との間隔は 0.5m 以上。 ただし、突起物が入口金具から下方 3m 以内の場合は、0.3m 以上。）	 降下空間の水平投影面積以上とする。
備考	1. 降下空間、避難空地を共有して器具を設ける場合は、器具相互の外面を 1m まで接近させる事ができる。 2. 下部で入口部と降着面積との間隔（H）は、0.5m 以下であること。			

特　長

1) 内部はらせん構造を採用し、４本の展張部材（ベルト）で全体の荷重をしっかり保持します。

2) 左回りに一定のスピードで、どなたでもスムーズに降下できます。

3) 袋の底には保護マットが設置されているため着地時のショックを和らげ、安全に降り立つことができます。

4) アームは１段から３段式まで幅広く対応。最大 3460mm（3 段式）の長さまで認定を取得しています。

5) 環境や温度の変化による帆布の劣化を防ぐため、熱処理で形やサイズを安定させる『ヒートセット（特殊加工帆布）』を採用しています。

6) 格納箱には大気汚染や人体への影響がない環境に優しい粉体塗装を施しています。

7) 国家資格である一級帆布製品製造技能士が製造に携わり「安心・安全な品質」を徹底しています。

8) 操作は上部（設置階）だけで完結。地上の固定環が不要なため、一刻を争う状況でもすぐに避難できます。

垂直式救助袋取扱説明

①格納箱を取り外す（分解型）



1. 上蓋の両側についている止め金具を外し①、取手を持って上蓋を取り外す。②
2. 前板の両側についている止め金具を外し③、取手を持って前板を取り外す。④
3. 救助袋の取付けてある開口部の窓、カーテン、ブラインド等を完全に開放する。

⚠ 注意－● 格納箱の止め金具に指を挟まれないようにすること。指等に、ケガをする恐れがあります。

（手前引き型は、取手を持って手前に引き、取り除く。）

⚠ 注意－● 手前に強く引くと倒れることがあります。

②バンドを引き、砂袋を投げる



1. 袋本体を締めてあるバンドを手前に引きバンドを解く。①
2. 誘導網の先端についている砂袋を地上に投下する。②

⚠ 注意－● 誘導網の輪がもつれてないか確認する。
● 砂袋を投下する時、ひさしや、階下の屋根等の障害物がある場合は、引っ掛からないようにすること。砂袋が途中で引っ掛かると袋の展張ができません。
● 地上に人がいないことを確認すること。地上に人がいる場合は、注意して砂袋を投下すること。

③袋本体を降ろす



1. 袋本体を先端から徐々に地上に降ろす。①

⚠ 注意－● 袋本体を降下させる時、障害物などにより途中で静止した場合は袋本体を引き上げ、降ろし直すこと。
● 袋本体を降下させる時にサッシの角、止め金具等の障害物に引っ掛からないようにすること。袋本体が損傷を受けることがあります。
⚠ 警告－● 袋本体が途中から自重で急速に落下することがありますので、手や衣服等を巻き込まれないこと。転落等の恐れがあります。

④入口金具を回転させる



1. 袋本体が降下し終わったことを確認する。①
2. 入口金具の両側のワイヤロープ２本を持つか④、または入口金具の下端部分のパイプを持って回転させる。②
3. 入口金具の２段、３段とアームを伸張する金具は折りたたんだままの状態にて回転させる。③

⚠ 注意－● 入口金具を回転する時、指や衣服等を巻き込まれないこと。ケガの恐れがあります。
● 伸張させた状態で回転させると開口部上端に当たり回転できません。

4. 入口金具が一定の所で静止した状態で両側のワイヤロープ２本が正常に展張されているか確認する。④
２段、３段とアームを伸張する金具で、入口金具の上端部にバンドの付いているものは、バンドを引く。入口金具の内部よりアーム（支持枠）を伸張させ全体が正常に伸張されているか、内側、外側より確認する。

⚠ 注意－● 正常に伸張されていないと降下できません。

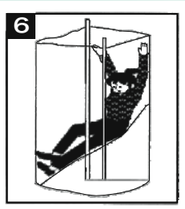
⑤降下する



1. 取付金具に設けられているステップを手前に倒す。①
2. 入口枠の上端を持って足から入り、正面にある安心ベルトを持って両足を揃えて降下姿勢をとる。②

⚠ 警告－● 降下者は頭から袋の中に絶対に入らないこと。頭から地上に着地するため大変危険です。
● 袋の中に勢いよく入らないこと。加速がつき出口で飛び出す事があります。
⚠ 注意－● 入口金具の入口部で立ち上がらないこと。立ち上がると開口部の枠等で頭を打つ事があります。

⑥降下姿勢



1. 降下中、両手を上に上げて右膝を内側に心持ち曲げ、背中及び腰部で滑り降りる。

⚠ 警告－● 降下中は、腕や足を急に広げたり、突っ張ったりすると、急ブレーキがかかり、袋の中で回転する恐れがあるので絶対にしないこと。
⚠ 注意－● 降下中、袋本体布との摩擦により手や肘等にすり傷を受けることもあります。訓練などで使用する場合は、長袖、長ズボン、手袋等を着用すること。

⚠ 注意　指・衣類のはさみ込み

※　避難器具の設置基準上、下地補強（建築施工）が必要になる場合があります。

